

平成26年度環境マネジメントシステム取組結果

【達成項目5項目】

1. 電気使用量の抑制
2. ガス使用量の抑制
3. 可燃物排出量の削減
4. 不燃物排出量の削減
5. 不燃物資源化率の維持向上



【未達成項目2項目】 ※基準年度は24年度

1. 可燃物資源化率の維持向上
(基準年度比で 0.9 ポイント低下！)
2. 水道使用量の抑制
(基準年度比で 2.4% の増加！)

平成 26 年度の水道使用量については、基準年度である、平成 24 年度に比べ、
年間で、252 m³ (252,000 ℓ) の増加です。

これは、500ml のペットボトルで 504,000 本分、深さ 1 m、幅 10 メートルの 25m プールと同じ水量です。なお、平成 25 年度と比較しても 250 m³ の増加となっています。

本庁舎における電気、ガス、水道の使用量、ごみ排出量等の目標達成には全職員の協力が必要です。未達成項目はもちろん、達成項目についても、更なる削減をめざしましょう。

水道使用量の抑制について



- ★ 蛇口の閉め忘れに注意しましょう。
- ★ 流しっ放しはやめ、バケツやコップ等を利用し、使用する分だけ水を出しましょう。
- ★ 汚れを拭いてから洗いましょう。

ごみの削減について



- ★ ごみの分別を徹底しましょう。
- ★ 資源ごみ（紙類）以外の燃えるごみを削減しましょう。
- ★ 仕事で出たごみ以外は出来るだけ持ち帰りを行うようにするなど、各自でごみの削減を意識して行動しましょう。

節電に御協力ください

- エアコン
 - ★ フィルターはこまめに掃除しましょう。
 - ★ 室温が室外より高い場合は、部屋の換気をし、熱気を逃がしてからエアコンを稼働させましょう。
 - ★ 自動運転等を利用し、効率良い運転を心がけましょう。
- 照明
 - ★ 使わない時は、こまめに消灯しましょう。
- パソコン
 - ★ 画面の照度を支障のない範囲で低めに調整しましょう。
 - ★ スリープモード等を利用しましょう。

このほかにも、日射や熱を遮る工夫（すだれ、よしず、グリーンカーテン）も効果があります。夏は熱中症に注意しながら、上手に節電をしましょう。